

## 中学校1学年・小学校6学年 英語科・総合学習（英語活動）学習指導案

日 時 平成17年7月8日（金）

13:15～14:05

学 級 上郷中学校1年A組40名，  
上郷小学校6年29名 計69名

場 所 上郷中学校体育館

指導者 T1 新田 千恵子（中学校）

T2 八重樫 元亨（小学校）

### 1 単元名 NEW HORIZON COURSE BOOK 1 Unit 4 - 日本大好き -

### 2 小中合同授業の意義

平成15年度より「いきいきと伝え合う子どもを育てる小中連携のあり方」と研究主題を設定し研究を進めてきている。中学校においては教科担任制、部活動、先輩・後輩の人間関係の構築など、小学校との学校生活の違いや、乗り越えていかななくてはならない課題が蓄積し、うまく適応できない子どもも現れてきている。そのため、各学校段階の特質を踏まえつつ、小中間の格差を乗り越え、滑らかな接続を図ることを目的とし研究を進めてきた。

昨年度より小学校6年生（現中学校1年生）と中学校1年生による英語の合同授業を行っている。この合同授業の意義は「小学校から中学校への円滑な接続」という観点から次のものと考えられる。

まず教員の側から見ると、小中学校の教員双方がティーム・ティーチングの学習形態による指導の工夫をすることで、異なる立場から小学校における英語活動や、中学校における英語教育の授業の進め方について意見を交流し、より良い小中連携教育における教育活動を追求することに意義がある。

小学生側から見ると、中学校での英語の学習がどのように進められているのかを知ることができる。また小学生が新しい言語材料に触れたり、英語活動での学習を中学校英語専門教員に指導・評価されたりすることにより、学ぶ楽しさを味わいながら、中学校の学習への期待感を膨らませることができると思われる。

中学生の立場から見ると、小学生とコミュニケーション活動を一緒に行うことで、教える場面や対話する相手が増え、表現する際の主体性や自信を増大させることができ、新たな意欲の喚起に結びつけることができると思われる。

過去5年間、上郷中学校の1年生は上郷小学校時代の3年生から、上郷小学校の6年生は2年生から英語活動を行ってきている。小学校の国際理解教育（英語活動等）においては、場面設定を工夫し、コミュニケーションスキル（コミュニケーション能力を培うための基本的な技能）を獲得させれば、進んでコミュニケーションを図ろうとする児童が育つであろうと仮説を立て研究を進めてきた。

そして、高学年に求める子ども像としては、自分の考えを持ち、相手を思いやりながら、コミュニケーションを図ろうとする姿を掲げている。また「進んでコミュニケーションを図ろうとする態度」の一つを英語学習の対象とするのではなく、コミュニケーションの手段としてとらえ、コミュニケーション能力を支える力として、相手に自分の考えを伝えようとする積極的な態度を重視してきた。さらに、体験的な活動を通して英語を話す必然性を課題設定の場面で設定し、自然に英語に慣れ親しみ、英語を楽しみながら使うことや使おうとする態度を育成したいと考えた。

### 3 単元について

#### (1) 単元の特徴

##### <中学校>

本教材は日本的なもの、日本に関係するものをめぐっての、マークとデミの3つの対話から成り立っている。パート1では、折り紙の作品を見ながら、「これは何?」とマークが問い、デミが応答する。パート2では、好きな教科は何か、という対話を行う。パート3では、ふだんの朝食では何を食べるか、という対話が行われる。

「好きな教科」や「朝食」という話題を扱うには、言語材料として What ~ ? が必須のものとなる。Unit 3 までに be 動詞と一般動詞の Yes No 疑問文は扱っているので、ここでちょうど What is your favorite (subject)? What do you (have for breakfast)? を扱うことができる。これら2つの話題に先立つパート1では、What is this? を導入するがその話題には、パート2・3の「日本語」「日本食」と絡め、視覚的にも美しく意外性のある「折り紙」が使用されている。

##### <小学校>

今回の単元に関わって、児童は5年生の1学期に What sport do you like? What food do you like? I like ~. を使った英語活動に取り組み、ゲームやコミュニケーション活動を通して楽しく英語に親しんできた。中学校で復習する What's your favorite ~ ? は未習の言語材料である。

#### (2) 児童生徒の実態

中学生は小学校から英語活動に取り組んできたこともあり、この単元で用いる言語材料は、全く知らない言葉というよりも、これまでの英語活動での授業の中では、何度か聞いたり、口頭練習を行ったりしているものもある。話すことに積極的で、未習の言語を使ってより豊かな表現をしようと辞書を活用している場面も見られる。しかし、大勢の前で単独でスピーチしたり、表現活動を行ったりする場面では、自信を失くしてしまう生徒も少なくない。英語活動に取り組んで5年目の小学生は、外国語指導助手(ALT)や支援教師(AT)との活動の中で英語の楽しさを感じているが、耳慣れない、難しい発音の単語が入った会話になると声が小さくなってしまいう傾向がある。

#### (3) 指導の構想

##### <中学生>

パート1では、What ~ ? の表現を用いて、身近にあるものやそれが何であるか確かめることができるように、その表現を用いて繰り返し練習させる。パート2では学校の教科について話しながら、形容詞の表現を用いて、その感想まで言うことができるように練習させる。パート3では朝食に関する対話を言語材料として取り入れ、何を食べているのかを聞き理解させる。

##### <小学生>

第1時、第2時では好きなスポーツ、好きな食べ物の尋ね方、答え方を復習し、さらに自己紹介の仕方を確認するために、ゲーム的要素が含まれるコミュニケーション活動に取り組みさせる。

### 4 単元の目標

	関心・意欲	表現	理解
中学生	本文の音読、ロールプレイ、コミュニケーション活動に進んで取り組もうとする。	物・教科・朝食について相手に尋ねたり、答えたりすることができる。	基本文型の形・意味・用法や本文の内容を理解することができる。

小学生	簡単な単語を用いながら、自己紹介等の活動を積極的にいき、誰とでも英会話等を楽しむことができる。 自己紹介の言い表し方に慣れる。
-----	--

5 単元の指導計画（中学校5時間、小学校3時間）

<中学生>

- (1) これは何? . . . . . 1時間
- (2) 好きな教科は? . . . . . 1時間
- (3) 朝食は何? . . . . . 1時間
- (4) まとめ(対話・単元テスト) . . . . . 2時間(本時1/2)

<小学生>

- (1) 好きなスポーツは何ですか。好きな食べ物は何ですか。 . . . 1時間
- (2) 好きな教科は何ですか。 . . . . . 1時間
- (3) まとめ . . . . . 1時間(本時)

6 本時の指導

(1) 本時の目標

<中学生>

聞き手に自己紹介の内容が正しく伝わるように、リズムやイントネーションなどに気を付けながら、自己紹介をすることができる。

What's your favorite~? の表現を用いて、積極的に相手に尋ねたり答えたりすることができる。

<小学生>

異学年との自己紹介に関わる英語活動を、積極的に行うことができる。

新しい言語材料を用いた、自己紹介の仕方を知り、会話を楽しむことができる。

(2) 本時の指導について

小学校6年生と中学校1年生の今年度初の合同授業である。まずは既習表現を用いての自己紹介から始め、表現を広げるため中学校で学習する、What's your favorite~?があるということをつなげていきたい。

Warm-up では、自信を持って次の活動に取り組めるように実際のコミュニケーション活動で使用する単語を復習する。課題の追求では、活動のイメージを持たせるために、最初に教師のデモンストレーションを行う。また、活動に入る前に個人のめあてを持たせることで、児童生徒の課題解決への意識はさらに高まると思われる。6年生1人に中学生1~2人がつくような、ペア・小グループでコミュニケーション活動を行う。中学生には、今まで学んできた教科の言い方やその感想を英語で表現させたい。小学生には未習の言葉であっても、中学生の助けを借りながら表現し、理解しようとする態度を養いたい。

2回目の自己紹介では、小学生にとって新出の言語材料を用いて一人ずつコミュニケーション活動を行う。中学生に最低1回は小学生と自己紹介させ、小学生が理解できていないときには、ジェスチャーを使うことも学ばせたい。その際、中学生が積極的に小学生に話しかけ、単語や基本文のドリルを十分に取り入れることで、自信を持ってコミュニケーション活動に取り組めるようにさせたい。また中学生には、小学生との合同授業を良い機会と捉え、間違いを恐れず積極的に話そうとする態度、相手の目をよく見て自己紹介をする態度を意識させコミュニケーション活動に取り組ませたい。

(2) 本時の展開

段階	学習過程	学習活動	教師の支援		指導上の留意点・評価の観点 小学校のコミュニケーションスキル 配慮が必要な児童生徒へ具体的手だて*	
			T1 新田	T2 八重樫	中1	6年生
導入 10分	1, あいさつ  2, warm-up  3, 課題設定	<ul style="list-style-type: none"> <li>英語であいさつをする。</li> <li>スポーツ・食べ物・教科の言い方を確認する。</li> <li>課題を確認する。 英語で自己紹介をしよう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>はっきりとあいさつをするように促す。</li> <li>はっきりと発音ができているか確認する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>はっきりとあいさつをするように促す。</li> <li>よく聞いて、はっきりと発音するように声をかける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>はっきりと発音ができているか。</li> <li>絵のついたフラッシュカードを使用する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>大きな声ではっきり話す。</li> </ul>
展開 33分	4, 課題の追求 (1) 既習の言語教材を用いた自己紹介  自己紹介の内容を確認する。  ペア・小グループで自己紹介をする。  練習した内容を発表する。  (2) 新出の言語材料を用いた自己紹介 What's your favorite ~ ? の言い方や意味を確認する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>氏名, 好きなものを話すことを知る。中1は好きな教科とその感想も話す。</li> <li>本時の個人のため、自己紹介に必要な表現を記入する。</li> <li>基本的な対話のマナーを意識しながら自己紹介を行なう。</li> <li>練習の成果を発表する。</li> <li>より相手の情報を得るための1つの言い方としてWhat's your favorite ~ ? があることを知る。</li> <li>具体的なスポーツ・食べ物な</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>デモンストレーションを行い、イメージをつかませる。</li> <li>自己紹介の内容, 対話の際に気をつけてほしい点を伝える。</li> <li>しっかりと発音できるように何度も練習させる。</li> <li>中学生を主に観察・支援する。</li> <li>良い点を具体的に評価する。</li> <li>しっかりと発音できるように何度も繰り返し練習させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>デモンストレーションを行い、イメージをつかませる。</li> <li>集中して聞くよう促す。</li> <li>集中して聞くよう促す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自己紹介の流れを理解させる。</li> <li>個人のめあてをしっかりと持たせた上で活動に入らせる。適切な表現で対話に取り組んでいるか。(表現・観察)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自己紹介を大きな声で行い、相手に尋ねたり、質問に答えたりしようとしているか。(観察)</li> </ul>
					A 紙を見ないで自然な流れで行い、質問に対して正確に答えることができる。 B はっきりとした声で行い、質問したり答えたりできる。 * 相手が言ったこと、自分が言いたいことをゆっくり繰り返し話す。	A 自己紹介を大きな声で行い、相手に質問したり、答えたりしようとする。 B 自己紹介を大きな声でできる。 * 相手が話したことをゆっくり繰り返し話し、児童が話したいことを教師に続いて話させる。
						<ul style="list-style-type: none"> <li>相手の目を見てはっきりと話す。</li> <li>よく聞く。</li> </ul>

	一人ずつ自己紹介をする。	<p>どを当てはめながら口慣らしをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>対話する人を探し、既習言語を用いながら最低1人3回は尋ねたり答えたりする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>中学生から進んで話しかけられるようアドバイスをする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>様子を見ながらうまくできない児童を支援する。</li> </ul>	<p>既習事項を用いて対話ができているか。(理解・表現・観察)</p> <p>A 既習言語の応答の仕方、発音を正確に理解し、対話ができる。</p> <p>B 既習言語を理解し、使うことができる。</p> <p>* いいにくい表現をゆっくりと繰り返して話し、ジェスチャーを使って対話するように指導する。</p>	<p>アイコンタクトをとりながら聞き返す等、積極的にコミュニケーション活動に取り組もうとしているか。(観察・シート)</p> <p>A アイコンタクトをとりながら聞き返す等、積極的にコミュニケーション活動に取り組もうとする。</p> <p>B アイコンタクトをとりながら、コミュニケーション活動に取り組もうとする。</p> <p>* 相手が話したことをゆっくり繰り返して話し、児童が話したいことを教師に続けて話させる。</p>
	発表する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>練習した成果を積極的に発表する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>よい点を具体的に評価する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>集中して聞くよう促す。</li> </ul>	よく聞く。	よく聞く。 大きな声ではっきり話す。
まとめ 7分	5, 課題解決 (1)自己評価  (2)感想発表  6, あいさつ	<ul style="list-style-type: none"> <li>活動を振り返ってシートに記入する。</li> <li>活動を振り返って感想を発表する。</li> <li>英語であいさつをする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>感想の部分を具体的に書くよう指示する。</li> <li>よい点を具体的に評価する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>感想の部分は個人のためあてに対して具体的に書けるようアドバイスを行なう。</li> <li>特に小学生の感想に対して評価する。</li> </ul>		

ス テ ー ジ  
学習活動スペース

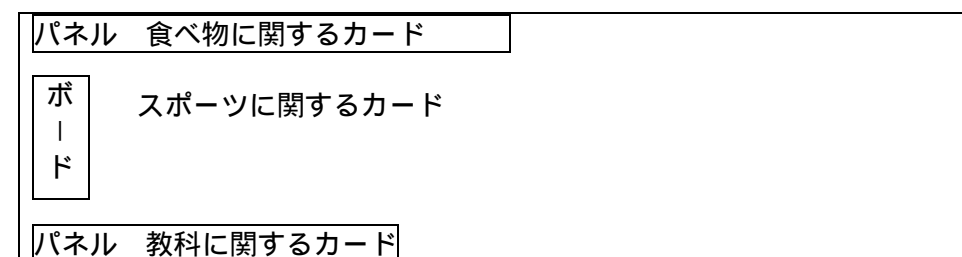
使用教材 ・ピクチャーカード、ワークシート、CD

英単語 - 発音・掲示

- ・スポーツ baseball, soccer, basketball, volleyball, tennis, swimming
- ・教科 Japanese, Math, Science, English, Social studies, Music, P.E., Art
- ・食べ物 **curry and rice**, spaghetti, apple, melon, strawberry, cherry, bread  
**watermelon**, orange, pizza

英単語 - 掲示

- chocolate, **candy**, **cookie**, steak, apple pie, **potato chip**, noodles
- soup, **sandwich**, hamburger, chicken, ice cream, cake, orange juice



入り口

自己紹介カード 小学生（表）

Name \_\_\_\_\_

今日のめあて

好きなもの

スポーツ	
食べ物	
教科	

自己紹介の仕方

- 1 あいさつ
- 2 名前
- 3 スポーツ
- 4 食べ物
- 5 教科
- 6 あいさつ

（裏）

聞き取った内容を書いてみよう

名前	スポーツ	食物	教科

中学生（表）

No. \_\_\_\_\_ Name \_\_\_\_\_

今日の目標

What ~ do you like?

sport	
food	
subject	

A: Hello.  
B: Hello.  
A: My name is ~. ( I'm~. )  
B: My name is ~.  
A: What ~ do you like?  
B: I like~. How about you?

What's your favorite ~?  
I like~.

（裏）

Listen & Write!

Name	sport	food	subject

振り返りカード 小学生

Name \_\_\_\_\_

- 1 進んで自己紹介をしたり、答えたりできましたか。
- 2 今日気をつけていたことは何ですか。
  - ・目を見て会話をした。 ・新田先生が話すときの口の開きを見た。
  - ・発音の仕方をよく聞いた。 ・新田先生の発音のマネをした。
  - ・何とかして（身振り、手振りをまじえても）相手に自分の伝えたいことを伝えた。

今日の感想を書きましょう！

中学生とやってみての感想を書きましょう！

中学生

No. \_\_\_\_\_ Name \_\_\_\_\_

自己評価

- 1、自己紹介を聞き手に正しく伝わるように話すことができたか。
 

A    B    C
- 2、お気に入りのものについて相手に尋ねたり答えたりできたか。
 

A    B    C
- 3、お気に入りの物について答えるとき、感想をつけ加えることができたか。
 

A    B    C
- 4、進んで活動に取り組めたか。
 

A    B    C

感想を書こう！

小学生とやってみての感想を書こう！